

上狼塚館跡 (かみおいのづかたてあと)

所在地 宮城県加美郡加美町上狼塚

指定 加美町指定史跡 昭和 53 年 3 月 31 日

概要

大崎氏四家老の一人里見紀伊守隆成の居城で、現在は慈恩院や住宅があります。安永風土記（江戸時代後期）によると、城の大きさは方 80 間（約 160m 四方）とあります。

現在も城の外堀が部分的に確認でき、「館屋敷」、「内館」、「隠居」、「池屋敷」、「搦め」、「門口」などの地名が残されていて、城内の様子を窺い知ることができます。

里見隆成の墓は、居城の南隅、現在の慈恩院本堂須弥壇の真下にあります。同寺はかつて上狼塚村鍛冶町（寺畑囲）にありましたが、享保 10 年（1725）の火災により、旧館屋敷の墓跡地に移転しました。

